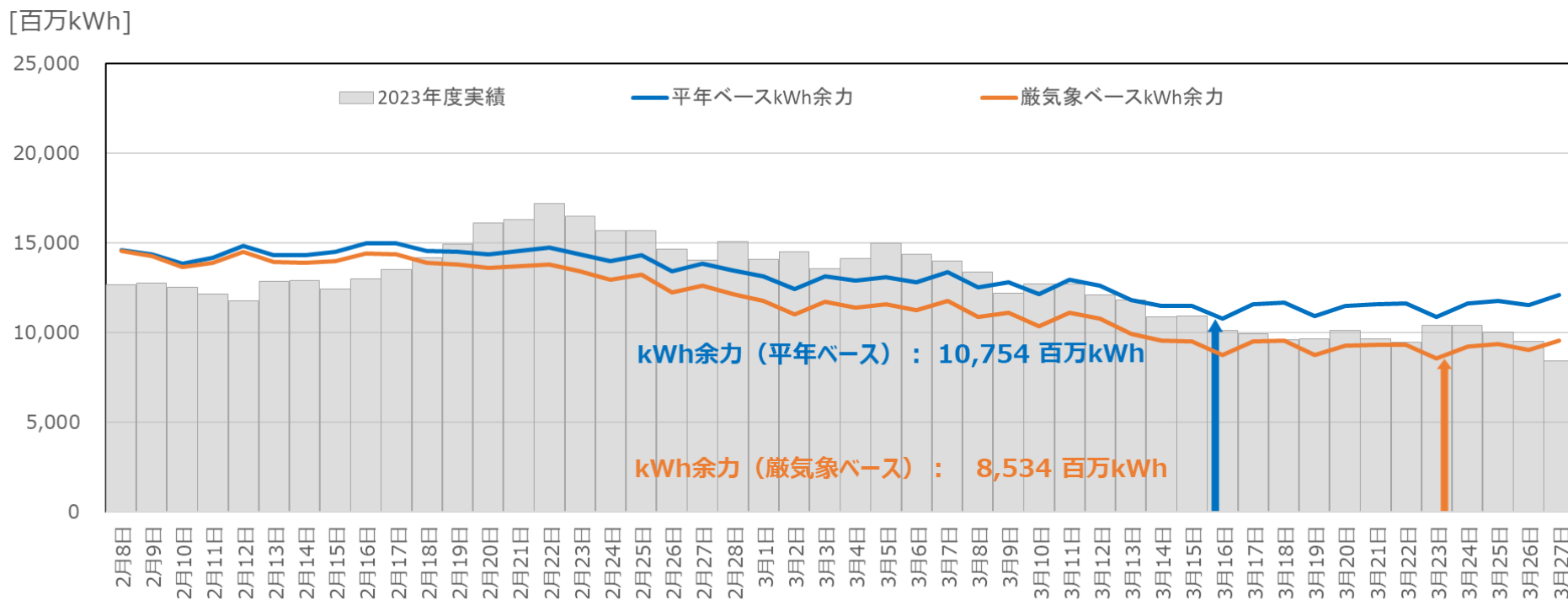


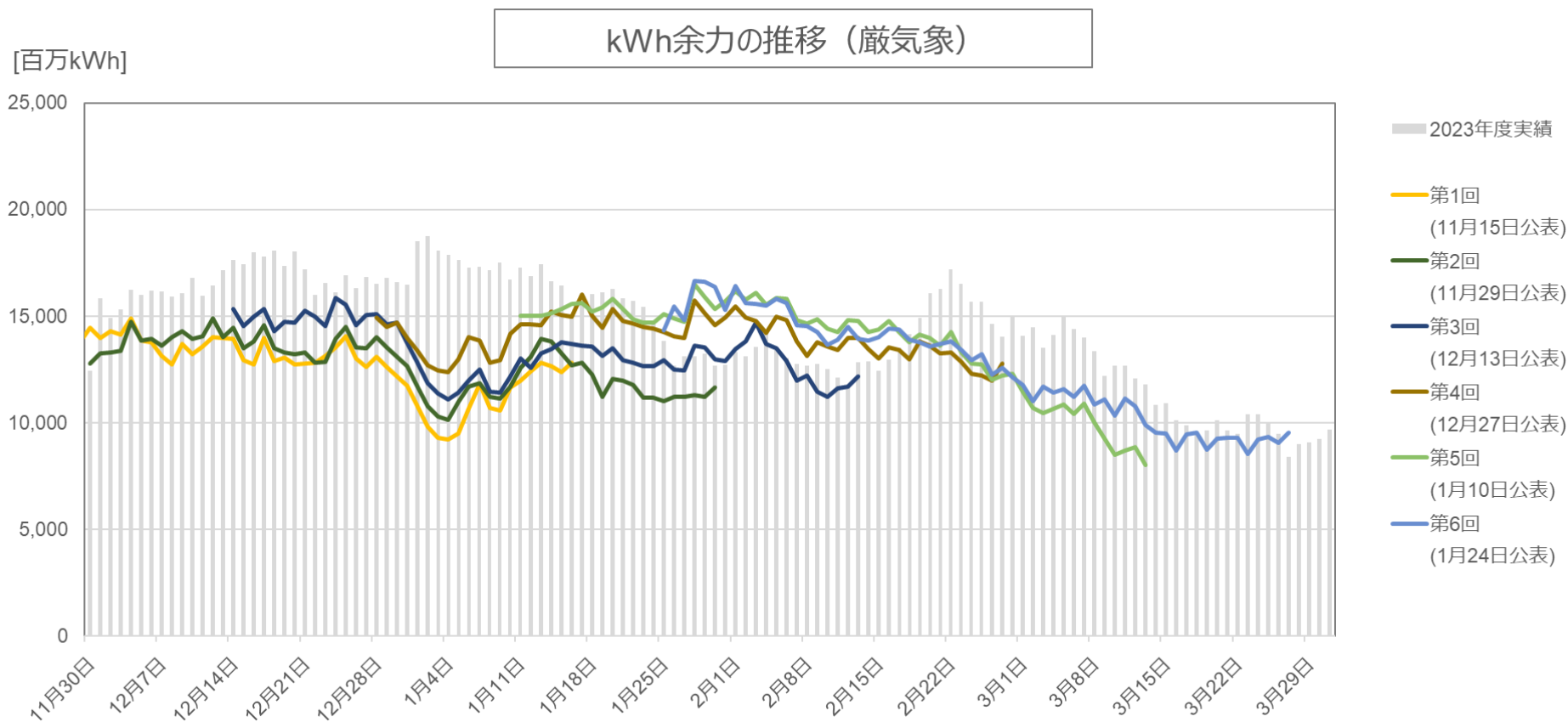
kWhモニタリング（対象期間:2/8～3/27）の結果

- 今後、平年並で需要が推移すると、kWh余力は3月16日に最小となる見込み。その値は **10,754百万kWh** であり、これは、対象期間の平均電力消費量の**約4日分**に相当。
- 厳気象ベースで需要が推移すると、kWh余力は、3月23日に**8,534百万kWh**となる見込み。これは、対象期間の平均電力消費量の**約3日分**に相当。
- 3月後半に向けて、燃料在庫はゆるやかに低下する傾向であるが、平年並の気象条件が続く場合は2023年度を上回る水準となる見通し。引き続き動向を注視していく。



kWhモニタリングの結果（これまでの結果との比較）

- 前回（第5回）のkWh余力（厳気象ベース）と、概ね同じ傾向で推移。



注：上記kWh余力の推移のうち、始めの2週間は気象予報を基にした需要を用いて算定したものであり、厳気象を想定した推移ではない